

御環第28号  
令和元年6月25日

静岡県知事 川勝 平太 様

御前崎市長 柳澤 重夫



「(仮称) パシフィコ・エナジー遠州灘洋上風力発電事業計画段階環境配慮書」  
に関する意見について (回答)

令和元年5月31日付け環生第78号により照会のありました件について、静岡県環境影響評価条例第37条の2第2項の規定による環境の保全の見地からの意見を、別紙のとおり提出いたします。

担当：御前崎市市民生活部環境課

電話：0537-85-1162

FAX：0537-85-1149



(仮称) パシフィコ・エナジー遠州灘洋上風力発電事業計画段階環境配慮書  
に対する市長意見

1 はじめに

本事業の実施が想定される区域は、県下でも有数な好漁場であるとともに、マリンスポーツ、磯遊び、遊漁船など海洋レジャーの拠点であり、豊富な漁業資源と豊かな自然環境を有する海域として、これまで、本市の水産・海洋文化の拠点として成長してきたところである。事業者には、この環境影響評価の手續において、述べられた市長意見並びに知事意見を尊重し、事業計画に反映するとともに、環境への影響を回避又は可能な限り低減することを求める。

2 全般事項

本事業は、御前崎市、掛川市、袋井市の海岸から沖合約 21,932 ヘクタールの海域に最大 130 基（総出力最大 65 万キロワット）の風力発電機を設置する県下初の大規模な事業であることから、専門家の助言や国内外における最新の知見・事例等を踏まえ、事業の実施に伴う環境への影響を回避又は可能な限り低減すること。

また、本事業に対する漁業関係者の強い反対意見があることを踏まえ、地域住民及び関係団体に丁寧な説明を行い、理解が得られるよう努めるとともに、地域住民、関係団体、関係行政機関との情報交換を積極的に行い、環境への影響に関する相互の情報共有と信頼関係の構築に努めること。

3 個別事項

(1) 騒音及び超低周波音

騒音及び超低周波音は、風向きなどにより、広範囲に影響が及ぶ可能性があるため、影響が及ぶ範囲を考慮する最大の範囲で設定し、風力発電機の配置、機種等の検討に当たっては、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、環境への影響を回避又は可能な限り低減すること。

(2) 風車の影

風車の影による生活環境への影響を考慮し、影響が及ぶ範囲を考慮する最大の範囲で設定し、風力発電機の配置、機種等の検討に当たっては、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、環境への影響を回避又は可能な限り低減すること。

(3) 動物・植物

工事に伴う海水の濁りや、施設の供用に伴う超低周波音及び水中音による水生動植物への影響を回避又は可能な限り低減すること。

事業実施によるバードストライク等の鳥類への影響が懸念されるため、

適切な調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえた環境保全措置を講ずること。

また、工事に伴う海水の濁り、夜間作業時の光、建設による海流の変化、稼働後の騒音、振動、超低周波音及び水中音などによるアカウミガメの生態系への影響については、有識者及び専門機関等に意見を求め、適切な調査、予測及び評価を行うこと。

#### (4) 景観

本市の海岸は、県立自然公園に指定されており、主要な眺望点から、風力発電機が視認されることによる圧迫感や違和感が生じることのないよう配置や機種等を十分検討し、景観への影響を回避又は可能な限り低減すること。

#### (5) 廃棄物

工事に伴い発生が予想される廃棄物が、周辺環境に影響を及ぼすことのないよう、十分配慮すること。

#### (6) 文化財

工事に伴う海水の濁り、施設の供用に伴う超低周波音及び水中音により、国の天然記念物に指定されている「御前崎のウミガメ及びその産卵地」に影響を与えることがないよう環境保全措置を講ずること。

また、本市沿岸には、近世以前の埋蔵文化財があるため、十分な調査を実施するとともに、有識者及び専門機関に意見を求め、適切な調査、予測及び評価を行うこと。

#### (7) その他

近年、地球温暖化による異常気象が日本だけでなく、世界各地で発生している。事業実施想定区域においても、想定外の風速・風量が予想されるため、十分な調査を実施するとともに、有識者及び専門機関に意見を求め、適切に予測及び評価を行うこと。

また、本事業に当たっては、事業実施想定区域が洋上のため、想定される南海トラフ巨大地震による津波、台風による暴風、落雷等の自然災害に対する安全対策及び通常起きうる故障等における環境への影響について、十分な検討を行い、適切に予測及び評価を行うこと。

同様に、稼働後の施設の維持管理方法や、稼働終了後の撤去時における環境への影響についても、適切に予測及び評価を行うこと。

なお、方法書以降は、専門的な表現を可能な限り用いず、十分な解説や図表を記載するなど、関係者にとって丁寧かつわかりやすい図書を作成すること。